

新作

交通安全教材DVDビデオ

DVD
VIDEO

冬道事故を防ぐ

～危険な路面の見分け方～

危険な路面とは?



視界不良!

日常点検!

冬道タイヤとして
使用不可

冬道タイヤとして
使用可

注意: ハイブリッド車には専用のブースターケーブルが
必要な場合があります

¥68,000 + 消費税

20分作品 (字幕選択式)

冬道事故を防ぐ

危険な路面の見分け方

この映像は、雪や凍結した冬道でのスリップによる事故や吹雪などの視界不良による事故を起こさない様、冬道を「安全に走行する」ための作品です。

作品の主な内容

1

冬道の事故要因は、秋から冬、冬から春への季節の変わり目です。冬との季節の変わり目は、大変危険な路面状態が出現します。

2

冬道交通事故を防ぐには、冬道の交通環境に応じた運転感覚への切り替えが必要です。冬道の路面には、夏道と大きく異なり「滑りやすい」「見えにくい」「わだちが出来る」「道路が狭くなる」などの危険な状況が生じることで、スリップ事故や視界不良に寄る事故が多発します。ゆとりを持って、車間距離は夏の倍を目安に早めのスピードダウンを心がける運転が必要です。

3

冬道運転の予備知識で真っ先に必要なのは、運転意識や運転感覚の切り替えです。平地では大丈夫でも、山間部や峠では圧雪や路面凍結を予測しなければなりません。冬道運転で「確実に車を止める」にはタイヤをロックさせない、横滑りやスリップが発生したらアクセルを戻しブレーキは絶対に踏まない。タイヤが空回りするのはアクセルの踏みすぎ、わだちのある場面ではわだちに逆らわないで走行する。

4

冬道の高速道路安全走行には「車間距離は凍結路面の3倍以上、急ブレーキや急ハンドル、無理な追い越しはしない」で走行する。特に橋の上やトンネルの出入り口付近では、ブラックアイスバーンを予測して走行する。

5

アイスバーンの基礎知識、通常の湿潤路面のように黒く見えるアイスバーンを「ブラックアイスバーン」、踏み固められた「圧雪アイスバーン」、交差点前後に生じる磨かれたアイスバーンを「ミラーアイスバーン」といいます。



制作・著作 プラン・プロデュース

制作協力 麻生自動車学校

Honda Cars 北海道

NEXCO 東日本 北海道支社

DVD VIDEO

片面・一層

20分

カラー・NTSC

MPEG-2

16:9

制作 2014.10.30

※字幕選択式

販売元

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955

お問い合わせ・お買い上げは

●販売 岩波映像(株)

TEL 03(5689)2601
FAX 03(5689)2685